

科目名	自治行政研究 A
担当者	小原隆治
配当学期	春学期
単位	2単位
授業概要	<p>政府や自治体内外の言説で「コミュニティ」「ソーシャルキャピタル」の洪水とでもいうべき現象が起きている。この現象をどのように受け止めればよいのだろうか。今期は下記の文献をテキストとして取り上げ、受講者と輪読形式で読み進めながら、とくに日本(あるいはアジア)特有の包括機能型コミュニティ組織である町内会に焦点を当てて考察を深める。</p> <p>輪読にあたって、初回に第2回以降の報告担当者を決める。報告担当者は毎回 A4 版で 1-2 枚程度のレジュメを用意し、それをもとに報告と討論を行なう。受講者は各自そのなかから興味ある題材を見つけ、それについて期末に 4,000 字以上のレポートをまとめる。</p>
授業の到達目標	<p>文献・資料を丹念に読み解き、的確に論点整理・問題提起をする能力、それをもとに独創性ある論文コンテンツをまとめあげる能力を獲得すること。</p>
授業計画	<p>(1) ガイダンス (2) 近江(1958) (3)-(4) 中川(1980) (5)-(8) 倉沢・秋元(1990) (9)-(12) 名和田(1998/ 2009) (13)-(14) 岡部(2009) (15) 小田切(2009)</p>
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近江哲男「都市の地域集団」(『社会科学討究』第3巻第1号、1958年4月。のちに近江哲男『都市と地域社会』〔早稲田大学出版部、1984年〕に収録) ・ 中川剛『町内会』(中公新書、1980年) ・ 倉沢進・秋元律郎編『町内会と地域集団』(ミネルヴァ書房、1990年) ・ 名和田是彦『コミュニティの法理論』(創文社、1998年) ・ 名和田是彦編『コミュニティの自治』(日本評論社、2009年) ・ 岡部一明『市民団体としての自治体』(お茶の水書房、2009年) ・ 小田切徳美『農山村再生 「限界集落」問題を越えて』(岩波ブックレット、2009年) <p>近江(1958)は受講者にコピーを配布する。中川(1980)、倉沢・秋元(1990)は入手しにくい文献であるので、クラスで相談したうえ、受講者全員にテ</p>

	キストが行き渡る方法を担当教員が工夫する。	
参考文献	随時紹介する。	
成績評価方法		評価基準
	試験 %	
	レポート 20%	期末に課すレポートの成績を基準にする。
	平常点評価 80%	受講者各自の報告など日頃のゼミへの貢献度を基準にする。
	その他 %	
関連 URL	随時紹介する。	
備考		